



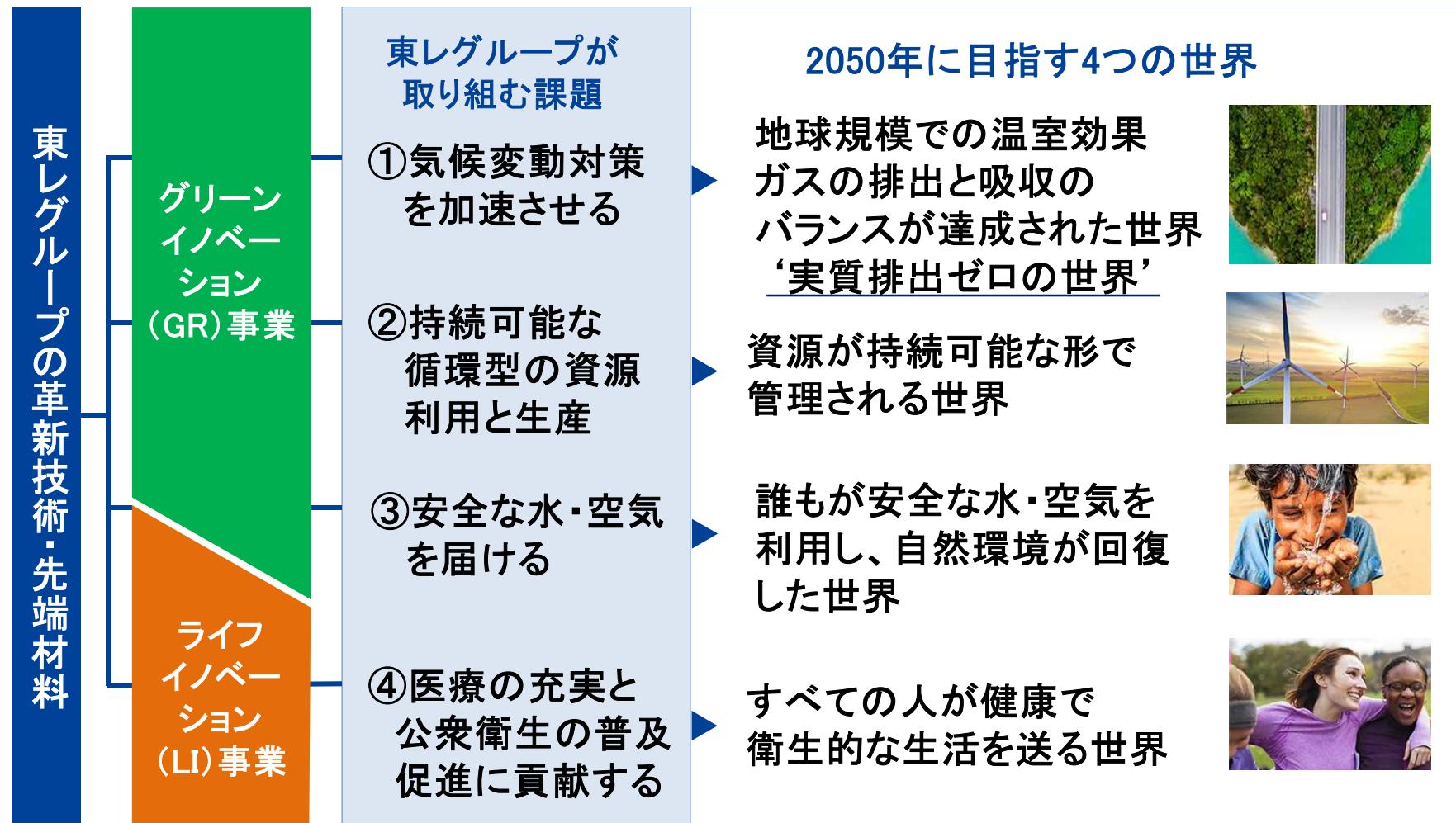
【航空機の脱炭素化に向けた新技術官民協議会】

# 炭素繊維のカーボンニュートラルに 向けた取組と課題

東レ株式会社  
理事・複合材料研究所長  
吉岡 健一

# 東レグループ サステナビリティ・ビジョン

- 2050年に向け東レグループが目指す世界と取り組む課題

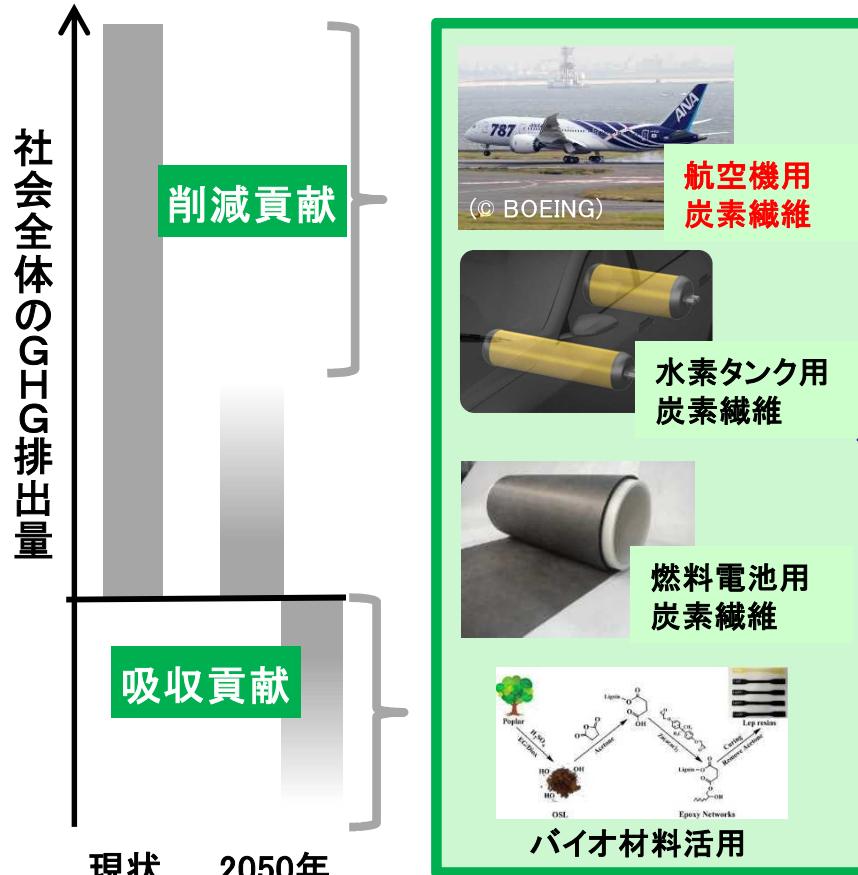


# 2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組

GR事業:グリーンイノベーション事業

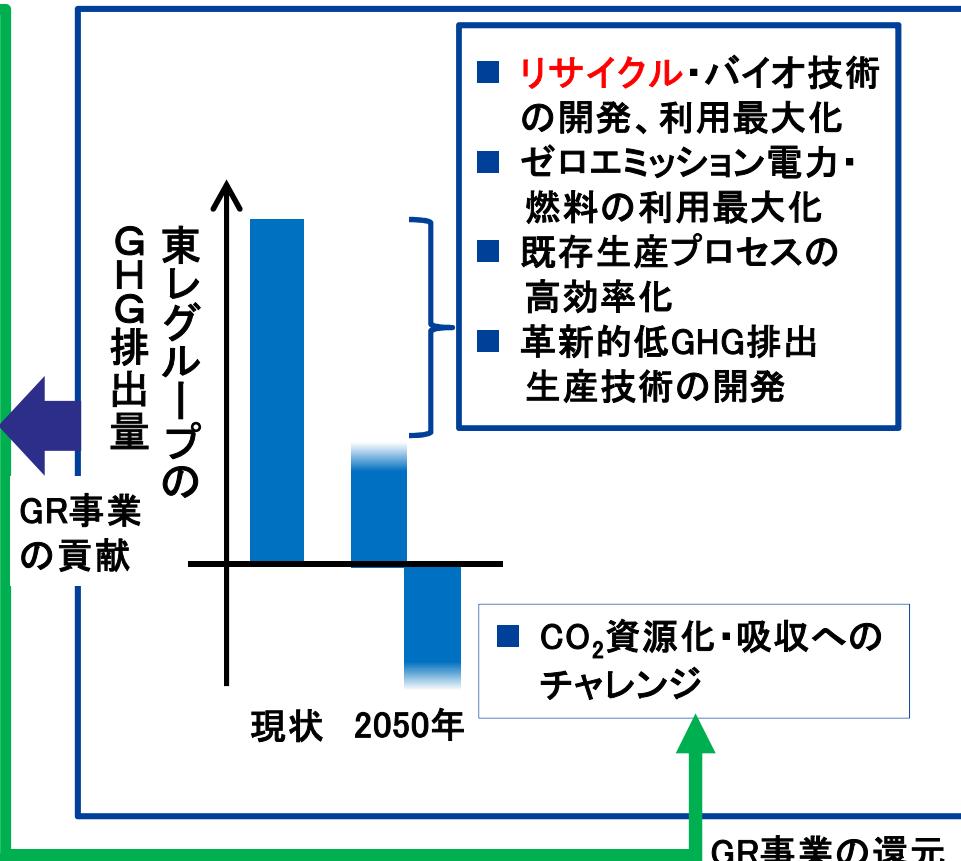
## GR事業によるGHG削減貢献拡大

再エネ、水素関連素材等GR事業で、  
カーボンニュートラル技術の進化を支える



## 事業活動のGHG削減技術導入

持続可能なエネルギー・原料利用、革新プロセス、  
CO<sub>2</sub>資源化技術等でトータルの排出量削減



社会のカーボンニュートラル実現に貢献

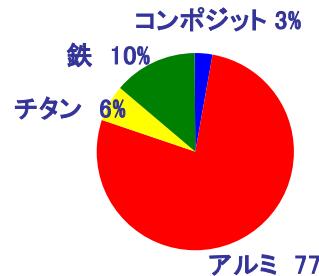
自社のカーボンニュートラル化を目指す

## 炭素繊維利用によるCO<sub>2</sub>削減(航空機)

ボーイング767



© Boeing



“炭素繊維協会モデル”

航空機



CFRP化



炭素繊維製造時の  
CO<sub>2</sub>排出量



ライフサイクル  
CO<sub>2</sub>削減効果

(製造時含む)

▲1400トン



炭素繊維は社会のCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献する材料。

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**